

## 第45回優勝者記念大会 美都町神楽競演大会 要綱

1. 趣 旨 今、全国各地で演じられている神楽は、それぞれが今昔より延々と営まれ、人々に継承され今日に至っています。神楽のルーツは、その土地の歴史、風土、気質と密接な関係がありそれゆえ異なる様々な形態をとる多様性芸能であると言えます。時には互いに影響しあい変遷を遂げながら、今なお地域文化に根差した芸能の位置を占めています。

島根県西部に伝わる「石見神楽」も永い歳月を経て発展しながら、「石見」の人々や、土地に定着していった神楽です。明治時期における、舞い手の神職から農民への移行や、6調子から8調子へ、また、劇本位から舞本位の構成をはかる中で、石見の人々の性格や気性によく適応して、地方豊かな神楽である「石見神楽」が今日に至っています。

現在町内にも神楽社中があり、地区のお祭りや県内外のイベントへ参加しています。私達、美濃商工会青年部もこうした地域伝統芸能である石見神楽の更なる発展と継承を図り、地域情報発信の為、事業として昭和53年から毎年11月に「美都町神楽競演大会」を開催して参りました。

本大会は、演技を採点する方式をとっており、基準は「舞」「楽」等5項目で「神楽が正しく継承されていること」「楽と舞い手が一体となっていること」「見る者への感動をあたえているかどうか」が大きなポイントとなります。こうした方式をとっている理由には、神楽という文化を地域伝統として生かしていきたい、それが正しく後世に受け継がれてほしい、そしてそれに携わる後継者を地域に育てたいという思いがありました。

大会が始まって以来、今年で45回の記念大会を迎えることとなりました。本大会は過去の優勝者団体で実行委員会において厳選された社中の方々にご出演頂きます。いずれも神楽の真髄に達した伝統ある社中で最高に技量を持っておられる社中ばかりですが、本大会の審査基準により、審査委員が優勝・準優勝を選出する方法にて開催致します。

1. 主 催 美都町神楽競演大会実行委員会
1. 共 催 美濃商工会・青年部・女性部
1. 開 催 日 令和4年11月13日(日) 午後1時～午後8時頃
1. 会 場 ふれあいホールみと 島根県益田市美都町都茂
1. 後援依頼先 益田市、益田市教育委員会、益田市観光協会、匹見町観光協会、美都町特産観光協会、山陰中央新報社、エフエム山陰、日本海テレビ、BSS山陰放送、山陰中央テレビ、朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、中国新聞社、読売新聞松江支局、ひとまるビジョン
1. 助 成 美都町特産観光協会
1. 出 演 社 中 特別出演 松原神楽社中 (浜田市三隅町) 三谷神楽社中 (益田市美都町)  
(順不同) 競 演 三谷神楽社中 (益田市美都町) 丸茂神楽社中 (益田市美都町)  
益田市種神楽保存会(益田市下種町) 石見神代神楽上府社中(浜田市上府町)  
今田神楽団 (広島県北広島町) 桑田天使神楽団 (広島県安芸高田市)
1. 演 目 8演目 各競技時間 35分、40または45分の選択方式(塩祓いを除く)
1. 表 彰 優 勝 1団体 優勝旗、賞状、優勝盾、副賞(賞金30万円)  
準優勝 1団体 賞状、準優勝盾、副賞(賞金10万円)  
審査員特別賞 個人2名 賞状、盾、副賞(賞金5万円)

**\*賞金総額50万円**

1. 来場者数 約500名～700名

1. 入 場 券 大人2,000円 小人(小中学生)1,200円 (原則事前販売)

\*出演団体並びに一般者による会場内での写真やビデオ撮影はできません。

\*大会開催におけるコロナ感染症拡大防止対策にご協力をお願いします。

\*コロナ感染拡大等で大会が変更又は中止する場合がございます。